

(1) 平成22年度教育委員会事務局の主な取組み

主な取組みや評価の指標など		現況(前年)	目標	到達度	成果
1	地域ぐるみによる学校支援体制を構築し、地域や家庭の教育力の向上を図る。 ○ とっとり学力向上支援プロジェクト事業の推進	県教委の新規事業を活用し、課題の共有を図っている。	社会全体で取り組む教育を推進する	○	B
2	子ども読書活動の推進を図る。 ○ 子ども読書活動に関する基本計画及び推進計画の策定	未策定	基本計画の策定(実績) 3月末完成予定	○	A
3	各種人権施策の総合的・計画的な推進を図る。 ○ 町あらゆる差別をなくする実施計画(後期分)の策定	実施計画(前期分)の計画年度がH22年度で終了	実施計画(後期分)の策定	○	B
4	地産・地消の推進と食育の充実を図る。 ○ 地域食材使用率の向上	地消率68%(H21度実績)	地消率71%以上(H22年度目標)平成22年4月から12月現在で65.2%	○	B

(2) 教育委員会の活動状況

主な取組みや評価の指標など		現況(前年)	目標	到達度	成果
1	教育行政の使命に関する委員研修の充実 ○ 諸研修への積極的な参加	4回(H21)	対前年数増	◎	A
2	学校・地域現場の実情や課題の的確な把握 ・ 計画訪問(年2回×11校園) ・ 教育懇談会(11回) ・ 学校行事(入学式、卒業式、運動会、学習発表会) ・ 地域行事(地区公民館、文化センター) ・ 保育園訪問	40回(H21)	対前年数増	◎	A
3	教育委員会評価の実施 ○ 年度事業の重点化を図り指標を定めて到達度と成果を評価する	重点化を図り実施(H21)	継続実施	◎	A

(3) 琴浦教育基本目標に基づく評価項目

A 「ともに学びあい、高めあうまちづくり」

重点事項(主な取組みや評価の指標など)		現況(前年)	目標	到達度	成果
1	生涯にわたる発達段階に応じた社会教育の推進 ○ 重点目標記載の各種事業の全町民比参加率を高める	17.7%	対前年比増(実績) 18.4%	○	B
	○ 10秒の愛キャンペーン認知度の向上を図る	62%	対前年比増(実績) 83%	◎	B
2	地域づくりと生涯学習推進を目指した地区公民館活動の充実 ○ 公民館長・主事の更なる資質向上のため各種研修会等への参加推進(県、中部、県公連主催)	前年度参加率 参加者 13.9%	対前年比増(実績) 51.8%	◎	B

3	自立した学習を支援する図書館活動の推進 ○ 個人年間貸出冊数（人口1人当たり）の増加に努める	貸出冊数 6.8冊	対前年比増 (実績) 6.8冊	○	A
4	豊かな情操を育む地域文化の振興と文化財の保護 ○ カウベルホールのホール年間利用者数の増加に努める	13,365人	町全人口比 50%以上 (実績) 14,866人	◎	B
	○ 町公共施設での発表会出演者数、展示会の出展者数の増員を図る	707人/年	対前年比増 (実績) 769人	○	B
	○ 県指定保護文化財河本家住宅の来館者数の増加に努める	800人/年	対前年比増 (実績) 1,502人	◎	A
5	心身の健康増進を図るスポーツ・レクリエーションの振興 ○ スポーツ・レクリエーションの振興（スポーツ大会開催、レクリエーション・スポーツ教室開催、体力づくり教室開催）	各種大会・教室を開催	継続的に開催	○	B
6	男女共同参画社会の形成の推進 ○ 男女共同参画プラン実施計画に基づいた事業進捗	実施計画作成済	実施計画中平成22年度予定全事業実施	△	B

B 「ふるさとを愛し、未来を拓く琴浦っ子の育成」

	重点事項(主な取組みや評価の指標など)	現況(前年)	目標	到達度	成果
1	地域に根ざした教育活動の推進 ○ 地域の教育資源を活用した体験活動や教育活動の機会の増加	各校が特色ある教育活動を展開中	地区公民館との連携強化により幼小中で実施	○	B
2	豊かな心を育む教育活動の充実 ○ 芸術鑑賞の機会の提供（開催学校数）	6校(H21)	前年維持 (実績) 7校	◎	B
3	一人一人の確かな学力の向上 ○ 児童生徒の学力状況の把握や課題の明確化に努め、学力向上対策を進める	全国学力学習状況調査、諸検査を実施	調査結果から課題や傾向を把握し適切な対応を図る	◎	B
4	学びと育ちの一貫性を重視した教育の推進 ○ 新学習指導要領への対応 ※H21年度から移行 ・小学校外国語活動への対応 ・幼稚園要領の完全実施	幼稚園、全小中学校で完全実施に向け対応中である	幼稚園、全小中学校で完全実施に向け対応を進める	◎	A
5	開かれた学校づくりによる学校運営の改善 ○ 一斉公開の実施(年2回)による評価アンケート6項目について「Aよくあてはまる」平均値	60.2%(H21)	60.0%以上 (実績) 64.7%	◎	A
	○ 学校評価の実施状況 ※自己評価と学校関係者評価の実施	町実施要領により取り組み中である(2年次)	評価を生かした学校運営を推進する	◎	A
6	今日的な教育課題の解決 ○ いじめ、不登校、問題行動への対応 ・不登校児童生徒数の減	H21年度 7人 小学校0人 中学校7人	H22年度 7人 未滿(小中合計2月末) 4人	◎	B

(3) C 人権文化に満ちた共生のまちづくり

	重点事項(主な取組みや評価の指標など)	現況(前年)	目標	到達度	成果
1	人権・同和教育の総合的、計画的な推進と推進体制の整備、充実 ○ 同和教育部落懇談会(小地域懇談会)事前研修会への参加による推進者の資質向上	451人(H21)	前年度比5%増(473人以上) (実績)442人	△	B
2	地域社会における啓発並びに学習機会の提供 ○ 差別をなくする町民のつどいの参加者アンケートにおける満足度の維持	91.2%(H21)	常時80%以上 (実績)82.8%	◎	B
3	就学前・学校教育における人権・同和教育の推進 ○ 各校全体計画、年間指導計画の基礎となる「育てたい資質・能力」の中の町内共通目標の設定有無	新学習指導要領の実施に向け全体計画等の見直しが必要。	町内共通の「育てたい資質・能力(目標)」の設定	○	B
4	琴浦町の人権啓発、福祉の向上、住民交流の拠点としての文化センター事業の充実 ○ 部落解放文化祭への来館者数の増加 …昨年度来館者数を基準として比較する。 東伯については昨年度は変則的な開催であったため、H20年度来館者数を基準とする。	東伯:1,500人(H20) 赤碕:1,300人(H21)	前年度比5%増 東伯:1,575人 赤碕:1,365人(実績) 東伯:1,305人 赤碕:1,098人	△	B

① 「到達度」欄には、目標及び過程の到達度について、次の評価基準で評価する。

- 「◎」順調 …設定された目標に到達した
「○」概ね順調 …設定された目標に到達したが若干の課題がある
「△」やや順調でない…課題が少なからずあり、設定された目標への到達がやや順調でなかった。または、目標に到達したが新たな課題が生じた
「×」順調でない …課題が多く着手できなかった

② 「成果」欄には、取組みにより得られた成果について、次の評価基準で評価する。

- 「A」…当初の目的・目標を達成した
「B」…当初の目的・目標に向けて相当の進展があった
「C」…当初の目的・目標に向けて一部の進展に止まった
「D」…当初の目的・目標に向けて進展がなかった

※ 「目的」は、評価構想図の各重点事項を示している。